

平成27年度 小千谷市算数部活動報告

部長 新崎 俊博

1 研究の概要

小千谷市では、市独自に定めた「おちやっ子教育プラン」に、確かな学力の向上を図る方策として「『できた、分かった』という体験を積み重ね、自分で学習を進める子どもの育成」を図る旨を掲げている。そこで、各校の研究内容や具体的な方策について、授業改善の視点を中心に紹介し合い、その成果を共有する場を設定した。

2 研究活動の実際

(1) 第1回算数部研修会（同日 市教研総会）

- ① 日時 4月22日（水）
- ② 会場 小千谷立小千谷小学校
- ③ 内容 ・年度の研究方針と推進計画の説明（部長）
・各校の課題と解決の方向性について紹介（学年別グループ討議）

(2) 第2回算数部研修会（同日 市全員研修）

- ① 日時 8月20日（木）
- ② 会場 小千谷市文化会館
- ③ 内容 ・共通のテーマや教材について指導案や指導計画を学年毎に持ち寄り検討
・今後の授業公開予定等の連絡

(3) 県小教研算数部研究協力校・協力員等による授業公開及び事後協議会

- ① 小千谷小 10月 5日（月）4年「2桁で割るわり算」
- ② 東小千谷小 10月 9日（金）3年「円と球」
- ③ 和泉小 11月 5日（木）6年「比とその応用」
- ④ 東山小 11月17日（火）5・6年複式「図形の面積・比例と反比例」

3 成果と課題

市全体として、「『できた、分かった』という体験の重要性を再認識し、主体的な学びを促す」とともに、基礎学力の向上を両輪として研究を進めた。

会員がそれぞれ自校の研究主題をもとに授業改善を行い紹介しあった。そのため、自由度が高く、それぞれの所属校の実態に基づいた特色ある研修報告や実践公開がなされ、情報共有することができた。それぞれの研修会で活発な議論がなされるなど、成果があった。

一方で、市全体としての分析・改善策が明確にならなかった。市として共通の課題や視点を設けるなどして、鋭角的な研究を推進していくことが課題である。